家族経営協定を新たに２戸が締結し、２戸が見直しました

１　普及活動のねらい

経営の方針や家族一人ひとりの役割、就業条件・就業環境について、家族みんなで話し合いながら取り決める「家族経営協定」を活用し、現状の認識と、それぞれの家族にあったルールづくりと見直しの推進を目的に活動した。

２　普及活動の成果

認定農業者の共同申請や経営移譲、三士役員になったことをきっかけに農家２戸が新たに家族経営協定を締結し、２戸が再締結した（令和８年３月末時点の海部管内における締結数は 155 戸）。

家族経営協定書によって農業経営や農地・農業用資産の相続等について検討し、後継者の役割の明確化及び法人化に向けた経営方針の明確化により、今後の農業経営改善への意欲が高まった。また、経営における女性農業者の役割についても明文化され、再認識された。

３　普及活動の内容

「家族経営協定」ＰＲ用の資料を作成し、市町村や農協に推進を働きかけ、対象者リストを作成した。家族の状況に変化があった農業者、新規就農者、農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者の共同申請希望者へ家族経営協定の締結を推進した。

「家族経営協定」締結の意向があり、家族の合意が得られた農家に対し、家族員の話し合いの場を設け、「家族経営の協定書」の作成を支援した。

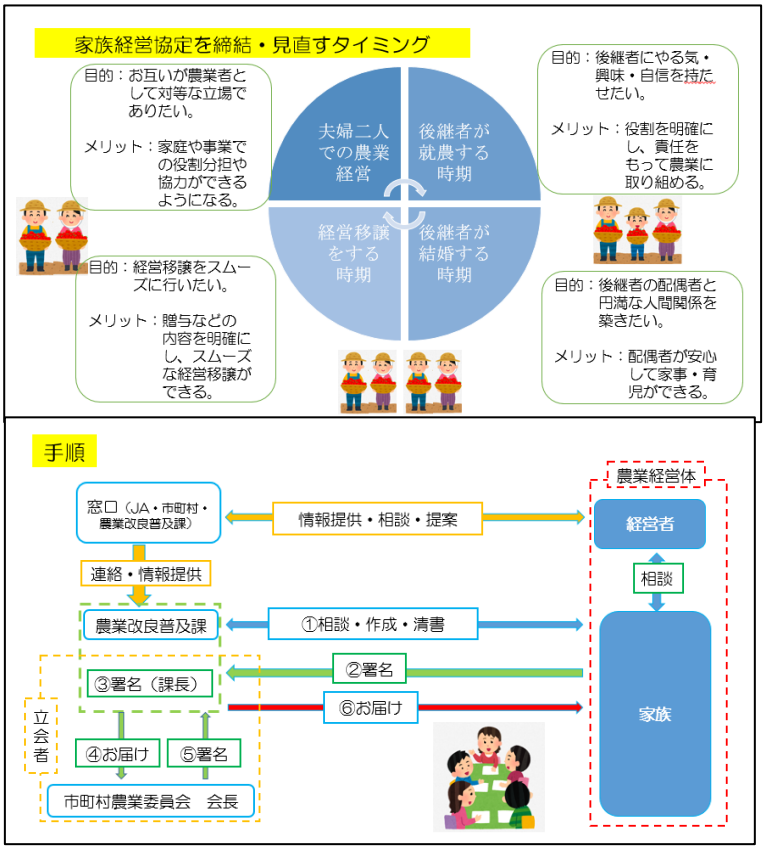


図　農家等への説明資料

重点課題名	１　海部地域の多様な担い手の確保・育成
普及事項名	（４）　仕事と生活の調和のとれた経営方針・役割分担の明確化